キャラクター名
グリルキティ・シャパリュ四世・マクベス(Grilliitty Chapalu Ⅳ Macbeth)

プレイヤー名

メインクラス	シーフ	**Lv.1:**		**レベル**	4
サポートクラス	モンク	**Lv.1:**	モンク	**性別**	女性
称号クラス				**年齢**	17
種族	ヴァーナ			**境遇**	秘密
出自（効果）	秘密結社			**目標**	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	8	12	21	6	15	6	9
ボーナス	2	4	7	2	5	2	3
クラス修正	1	1	2	0	1	1	0
他修正							
能力値	3	5	9	2	6	3	3

HP	50
MP	43
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ミスリルバグナウ	至近	0	9	0	0	0	0	0
左手									
頭部									
胴部	レザーアーマー					5			-1
補助	マント					1			
装身具	秘伝書								
能力値			5	0	9	0	3	15	8
スキル									
その他									
総計(右)			5	9	9	6	3	15	7 m
総計(左)									
総計(両)									
ダイス数			2 d	2 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
①【道具Lv01】野営道具	
①【収納Lv01】小道具入れ	
┣【道具Lv01】ランタン	
┗【道具Lv01】火打ち石/火打ち金	
①【収納Lv01】ポーションホルダー	
┗⑥【ポーションLv01】MPポーション	
①【収納Lv01】ランチボックス	
┗⑤野菜	
②【ポーションLv01】ハイMPポーション	

現在重量： 8		
最大重量： 8	所持金： 71	預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
アクロバット	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果： 猫族、作成時に敏捷基本値に+3								
インベナム	3	6	効果参照	-	自身	自動	-	
効果： 武器攻撃同時使用でメインプロセス終了まで対象1点以上HPダメージで対象B[毒SL]付与								
アームズマスタリー：格闘	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 選択武器武器命中判定+[1D]。《アームズマスタリー》複数適用不可								
バタフライダンス	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 回避判定+[1D]								
スタンアタック	3	6	マイナー	-	自身	自動	-	
効果： 武器攻撃ダメージ+[SL*3]、対象1点以上ダメージで対象BS[スタン]付与								
ソウルフィスト	5	4	メジャー	20m	単体	命中	-	
効果： 白兵攻撃<無>属性魔法ダメージ変更、ダメージ+[SL*2]、非エンゲージ対象可能								
インタラプト	1	-	効果参照	視界	単体	自動	-	
効果： メインクラス系譜限定：シナリオ[1]：タイミング[パッシブ、アイテム]以外のスキル宣言時使用で効果無効化								
トレーニング：敏捷	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 選択基本値+[3]								
アニマルエンパシー	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： 分類[動物、魔獣]エネミーと意思疎通								
リサーチ	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果： <感知>情報収集判定+[1D]								
マジカルハーブ	2	-	アイテム	-	自身	-	-	
効果： 『MPポーション5個orハイMPポーション2個』								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

猫を何より尊ぶ猫愛主義者。ただし「本物は純家猫だけ」であるためヴァーナ猫族や猫型生物は対象外。
しかし性格はマイペースでありながら尊大であり猫のような種族であるヴァーナの中でも特に猫らしい。
猫による猫のための猫の集会『サバト』に時々参加してはゴロゴロしてるため人には奇異の目で見られる。
『善悪』の認識は持ち合わせているが『常識』を持ち合わせてない節がありそれも原因の一つと思われる。
一時期、騎士団魔法部隊に所属していたが普段の性格・生活などが災いして部隊長と口論となり除隊した。
・一族
『猫界ニャンガルドからの来訪者』を自称した奇人『グリルキティ・グリマルキン一世・マクベス』の子孫。
当時はアーシアンという概念が存在していなかったがおそらくアーシアンだった可能性あるが実際怪しい所。
グリルキティは「家毎に存在する当主」の称号。シャパリュは「分家の家名にして個人名(彼女は四代目)」。
マクベスは「一族全体を示す本来の家名」。そのため「グリルキティ・マクベス」自体は世界中に存在する。